

*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです

ヨコスカ Discovery

ディスカバリー

第24回 鴨居から観音崎へ

幕末、故郷を遠く離れ江戸湾防備に従事した会津藩士とその家族の墓を鴨居に訪ねた後、明治の要塞跡の観音崎公園を海沿いに巡り、現代建築の粋を集めた横須賀美術館へと歩きます。
(距離約4.5km、所要時間:約2時間)

*見学の際は周りに配慮し、拝観希望の方は事前に寺社へお問合せください。

横須賀美術館

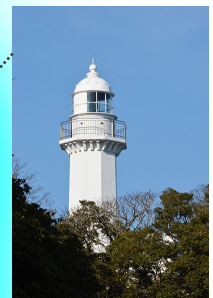
平成19年(2007)4月に開館。環境全体が美術館という概念のもとに、地形と一体化した建物になっている。「恋人の聖地」としても有名。



*開館時間などは本紙9頁「イベントカレンダー」コーナーを参照

観音崎灯台

明治2年(1869)に作られた日本最初の洋式灯台。今の灯台は三代目で、上からの眺望は抜群。映画・歌・小説の舞台としても使用された。

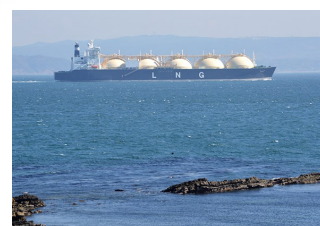


素掘りのトンネル

嘉永5年(1852)、観音崎台場(現在、観音崎灯台がある場所)が鳶の巣(トンネルを出て右手フェンス奥に見える平地の辺り。現在は自衛隊用地)に移設された頃に掘られたトンネル。馬に乗ったまま通れる高さになっている。

展望園地

明治時代に築かれた砲台の跡地。現在は東京湾を出入りする大型船のシップ・ウォッチングや日の出の絶景ポイント。



観音崎大橋

昭和49年(1974)10月に完成した海岸の上を通る橋。左手の旧道沿いには若松町を起こした高橋家(若松屋)の土蔵などが見える。

西徳寺

浄土宗鎮西派のお寺。永禄元年(1558)、鎌倉の光明寺の末寺として創建された。本尊は阿弥陀三尊像。裏山の頂上には会津藩士の墓が11基あり、毎年秋に慰霊法要が西徳寺と能満寺にて一年交代で行われている。2016年は能満寺で執り行われる予定。



八幡神社

源頼朝が養和元年(1181)に鶴岡八幡宮をこの地に勧請したものと伝えられている。7月の祭礼には「神輿の海上渡御(とぎょ)」という珍しい行事があり、鴨居の砂浜で「とっぴきびーおどり」が奉納される。



能満寺

曹洞宗のお寺。本尊は虚空蔵菩薩坐像で、市指定文化財。会津藩士とその家族の墓が10基ある。

